

## 女性宮大工の棟梁を目指して



手道具の扱い方も一人前の大工さんのよう。これから様々な経験を積んで頑張ってください。

私は、約二か月間天峰建設様にインターンシップ研修生としてお世話になりました。体験させていただいた現場は、秋葉神社の「浜松市指定文化財神門全解体修理工事」と静岡浅間神社の「重要文化財神部神社浅間神社北回廊保存修理工事」の二つです。一つの建物を組み立てるのに多くの職種の方々の支えが必要という事を目の当たりにし、それに関わる職人さん達の技術の高さに

良い刺激を受けました。建物が間近で組み上がっていく姿に感動しました。

学校では学べない事が現場では数多くあり、まだまだ私の未熟さを痛感しました。私の目指す宮大工としての姿がより明確に浮かび上がり、早く一人前となり、仕事を任せて貰えるようになりたいと感じました。女性である私が、男性社会の中で競い合っていくには、力仕事の面では劣ってしまうが、女性ならではの繊細さを強みにして補っていきたいと考えています。そして、女性でも宮大工が務まり、参入できるという道を示し少しでも多くの女性の宮大工への道を切り拓いていきたいと思っています。そして棟梁を担い、現場を仕切る立場になる事を最終目標として考えています。お忙しい中、お時間を割いて多くの事を教えてくださり、ありがとうございました。教えて頂いた事を今後に生かし精進して参ります。

ものづくり大学

建設学科二年 岡野 秀美

岡野さんは朝一番に作業場に来て、清掃、作業所の換気、道具の手入れを欠かさずに行っていました。また他の職

人の仕事を熱心に観察し、写真を撮り疑問に思うことを聞きメモを取っている姿に感心しました。当初は六月一四日から八月一日までの期間でしたが、秋葉山本宮秋葉神社の神門の上棟作業にも是非参加したいという希望で、二日まで延期したほど意欲的に取り組んでいました。神門の上棟は彼女の今後にとっていい経験になったのではないのでしょうか。

そして周りにも気配りができ、男性ばかりの職場の中でも気後れせずに、自ら仕事を探し出す積極的な姿勢に職人さんからの評判も上々でした。将来岡野さんが宮大工として活躍されることを期待しております。

弊社ではインターンシップを積極的に受け入れており、ものづくり大学からは二人目になります。これまでも高校生のインターンシップや中学生の職場体験なども受け入れてきました。学生のうちにインターンシップとして実際の職場体験することは、有意義なことだと思います。特にものづくり大学は従来の理工科系大学とは発想を替え、多くの実習科目と長期間のインターンシップを取り入れているそうです。